

立教大-社会科学部-過去問演習

大島

2025 年 10 月 18 日

過去問演習の意味とは

受験生が受験勉強をする中で誰しも通るものが、**過去問演習**である。

ただし、その過去問演習は、**回数をこなすだけ**の勉強になってはいないだろうか。そこで、私のおすすめの過去問への取り組み方を少し述べようと思う。

過去問演習とは、次の目的を達成するために用いるべし。

1. 受験校の難易度・傾向を掴む。
2. 受験校の教授は、どのような**数学的な発想・考え方をすることを要求しているのか?**を把握する。(傾向に合わせた思考をできるようになる。)
3. 時間配分を考える。
4. どの程度できれば御の字なのかを把握し、その正答率を目指して解く。
5. 自分で採点せず、他の人に添削をお願いする。(自分では、良いように思えても実際、ダメなことがよくある。)
6. 過去問演習は、2週目まで。(周回して、受かる気ななっているだけ。過去問で出題された問題はほぼ出ない。)
7. 良い点が取れなくても落ち込まない。(相性がある。その結果に一喜一憂している暇はない。その時間を勉強に充てよ。)
8. 最後まで、自分を信じて取り組むこと。(今、合格圏内にいる者はほとんどいない。(僕も、そうだった)最後まで、諦めない!!)